県高体連ボウリング競技専門部　「危機管理マニュアル」　※総体、新人向け

＜沖縄県高体連の危機管理マニュアルより抜粋・編集＞

2　大会の中断・順延・中止等の決定に係る基本的な考え方（大会期間中）

（1）競技の中止等を検討しなければならない状況

参加者の「生命、身体若しくは財産に重大な被害が生じ、
又は生じるおそれがある事態」が発生した場合
または、喫緊に発生することが予想される場合

ア、災害（特に台風）
（大雨、暴風、地震、落雷）
イ、事故
（会場、交通）
ウ、伝染病等

【 情報入手 】

実施本部（競技専門部）

10/26（月）※予備日 10/27（火）も同様

競技開始３時間前を基準とします
（午前６時とします）

＜　関係者で協議　＞
県高体連、専門部長・専門委員長

大会長：林　校長
委員長：小山　教諭
で判断します！

態　度　決　定

午前６時時点で中止の判断をして、各校にFAXを一斉送信します！
また、専門部公式HPでも連絡を掲載します！

委員長が県高体連に連絡

※急な台風、地震等で問い合わせが必要な場合は、直接小山の携帯まで！（選手は不可）
０９０－９５８９－１５１４

＊　状況に応じて大会終了後に県高体連専門部（大会事務局）から関係機関・関係者にお礼状や急なキャンセル等の場合はお詫び状等の送付を検討する。

中止（延期）の場合だけ各校へFAX（午前６時頃）し、
高体連専門部HPでも連絡を掲載します！
大会続行の場合は特に連絡はしない！

４　自然災害に対する予防及び対応

（１）　荒天時（大雨、暴風警報等）の対応

①　実施本部は、テレビ、ラジオ、インターネット等により大雨や暴風等の気象情報を随時確認・収集する。

午前６時に判断！

②　事前に設定した時刻（例：競技開始３時間前等）において、大雨警報、又は暴風警報（風速20m／ｓ以上）が発令されている場合は、原則として競技会を中止とする。その際は、各チーム、関係機関、役員・補助員等には迅速に連絡をする。

原則大会延期か中止です

③　午後２時までに大雨警報、又は暴風警報が解除された場合は、警報解除後に、各チーム、関係者、役員・補助員等を速やかに集合させ、大会開催の準備が整い次第、競技を開始することができる。（競技開始、再開の場合についても終了時刻（午後８時）を厳守すること。）

④　午後２時の段階で大雨警報、又は暴風警報が解除されていない場合は、それ以降に解除されたとしても、その日の競技会は原則として中止とする。

⑤　遠方より参加するチーム（離島チーム等）については、引率責任者は事務局との連絡を特に綿密に行うこと。

但し、午後２時までに解除され、競技開始可能な場合などは個人戦決勝なしや団体戦は個人戦スコア採用など競技方法の変更で臨機応変に対応することもある。（センター都合優先）

（２）　落雷（降雨含む）に伴う対応

①　競技大会前の事前準備

参加者の安全を確保するために、落雷等の急激な気象状況の変化に対応して、大会前に以下の準備をする。

ア　避難の必要が生じる場合を想定した避難場所・経路の確保及び指定（特に屋外競技）
イ　雷をはじめとする急激な気象変化を予見するための情報入手方法の決定
ウ　継続・中断・中止を判断する責任者と判断手順の決定

②　競技の中断・中止等の判断

実施本部（主に屋外競技）は、落雷の気象状況変化の情報を早期に収集し、事前に定めた方法により競技の中断・中止等を適切に判断する。

また、必要に応じて、参加者に対し、気象状況や避難誘導のアナウンスを行う。

※　落雷の場合、雷鳴が聞こえる距離（約10ｋｍ）の範囲内は、その場所に落雷する可能性があるため、十分注意する。

（３）　その他、感染症拡大に伴う対応など

県高体連ガイドライン、JBガイドラインに基づき当専門部ガイドラインを策定し、各対策を取りつつ危機管理マニュアルに沿った対応を適切に遂行していく。（会場所在地や会場独自の規定にも留意する）

---------- **以下の詳細は「県高体連HPにある危機管理マニュアルに従う」** ----------

（４）　その他自然災害に対する対応
①　光化学スモッグ注意報等
②　地震
③　火災

（５）　入場者、その他一般県民等とのトラブル

（６）　ほか

令和８年度の新人大会予備日：10／27（火）、詳細は専門部HP参照